

## 薬事委員会記録

日時：2020年3月5日(木) 16時00分

場所：医学部1階 小会議室

出席者：鈴木、白木、大野、諏訪、吉倉、池田、坂井、山口(和)、田中、江頭、川瀬、周、飯沼、大井、武内、出田、北川、馬場、境、酒々井、塚田、佐野、山口(昇)、太田、安田、小森、小林、山内

代理出席者：菊野〔産婦〕、黒木〔耳鼻〕、中野〔高次〕

委任状提出：加藤(博)、田辺、荒木

欠席者：堀、安藤、長瀬、吉田(学)、青木、二村、笹井

### 記録の承認

2019年12月5日開催の薬事委員会の記録を承認した。

### 議題

#### 1. 医薬品の採用について

7品目(ラグノスNF経口ゼリー分包12g、テリルジー100エリプタ30吸入用、ミネプロ錠2.5mg、アジレクト錠1mg、ビムパットドライシロップ10%、デベルザ錠20mg、トルリシティ皮下注0.25mgアテオス)の採用を承認した。

#### 2. 医薬品の継続試用について

6品目(コアベータ静注用12.5mg、ツムラ麻子仁丸エキス顆粒、ゴナックス皮下注用240mg、ザバクサ配合点滴静注用、メソトレキセート点滴静注液1000mg、キシロカイン注シリンジ1%)の継続試用を承認した。

#### 3. 医薬品の新規試用について

4品目(コララン錠2.5mg、フォシーガ錠5mg、リティンパ耳科用250 $\mu$ gセット、シングリックス筋注用)について、申請診療科および薬剤部より説明され、新規試用の承認可否の投票を実施した結果、全て承認された。フォシーガ錠5mgは院内で5剤目のSGLT2阻害薬となるため、今後SGLT2阻害薬の採用を見直すことを条件として承認した。シングリックス筋注用は供給本数が限られているため、生体支援センターの医師のみがオーダーすることで承認した。

#### 4. 医薬品の製剤変更について

2品目(ポラプレジンクOD錠75mg「JG」、注射用水バッグ「フソー」(1000mL))について、申請診療科より説明され、製剤変更の承認可否の投票を実施した結果、承認された。

#### 5. 適応違いに基づく先発品の再採用について

アルチバ静注用2mgについて、一部の適応が後発品に承認されていないことから先発品を再度採用することを承認した。

#### 6. 医薬品の採用中止について

5品目(コロンフォート内用懸濁液25%、セリプロロール塩酸塩錠100mg「日医工」、ラニチジン錠75mg・同150mg「マイラン」、アスタット軟膏1%)の採用中止を承認した。

#### 7. 院外採用医薬品に関する薬事委員会WGでの決定事項

##### ① 医薬品の院外採用について

14品目(ドウベイト配合錠、ピフェルトロ錠100mg、コララン錠2.5mg・同5mg、フィアスプ注フレックスタッチ、エクフィナ錠50mg、ハルロピテープ8mg・同24mg・同32mg、リルゾール錠50mg「タナベ」、アイベータ配合点眼液、アレジオンLX点眼液0.1%、トリンテリックス錠10mg・同20mg)の院外採用を報告した。

②医薬品の院外採用中止について

14 品目（アカルディカプセル 1.25mg、エピビル錠 300、グラケカプセル 15mg、シンメトレル錠 100mg、テトラミド錠 30mg、ヘパン ED 配合内用剤、ボノテオ錠 1mg、リルテック錠 50mg、ルジオミール錠 25mg、ワンアルファ錠 0.25 $\mu$ g・同 0.5 $\mu$ g・同 1.0 $\mu$ g、アレジオン点眼液 0.05%、サンピロ点眼液 4%）の院外採用中止を報告した。

③緊急購入医薬品の登録について

12 品目（アイセントレス錠 600mg、ベネクレクスタ錠 10mg・同 50mg・同 100mg、オルケディア錠 2mg、リムパーザ錠 100mg、レルミナ錠 40mg、リルゾール錠 50mg「タナベ」、ハルロピテープ 8mg、同 24mg、クリスビータ皮下注 30mg、ピコプレップ配合内用剤）の緊急購入の登録を報告した。

8. 医薬品の販売中止について

4 品目（アカルディカプセル 1.25mg、オーラップ錠 1mg、コペガス錠 200mg、ペルサンチン-L カプセル 150mg）の販売中止を報告した。

9. 医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況について

2020 年 2 月に医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況の評価を実施した。東 6 階にて C 評価の項目があったが、今後、改善対策を行うことを報告した。

10. 医薬品の安全使用のための業務手順書の改訂について

医薬品の安全使用のための業務手順書について、放射線医薬品の供給・管理の項目を追加したことを説明し、承認された。

11. フォーミュラリーの運用について

高血圧治療時の AT<sub>1</sub>受容体ブロッカーについて、テルミサルタン錠 40mg「DSEP」を推奨薬とした院内ルールおよびフローチャートを提案した。本ルールに従って医薬品を使用した場合、最大で 254 万円/年の医薬品費削減効果が得られることを説明した。今後、各診療科の意見を確認したうえで次回の薬事委員会で本案の承認を得ることとした。

次回薬事委員会の開催日時は、2020 年 6 月 4 日(木)とした。